

II 本県のアアルコール健康障害をめぐる状況

1 アルコール販売（消費）数量

○ 本県における平成22年～26年の酒類の販売（消費）数量は、毎年約45万キロリットルとなっています。

これを20歳以上の県民一人あたりの量に換算すると、年間約75リットルを消費していることになり、全国平均を下回っています。（表1）

表1 アルコール販売（消費）量順位

順位	年	平成22年		平成23年		平成24年		平成25年		平成26年	
		都道府県名	1人あたりの消費量(L)	都道府県名	1人あたりの消費量(L)	都道府県名	1人あたりの消費量(L)	都道府県名	1人あたりの消費量(L)	都道府県名	1人あたりの消費量(L)
1位		沖縄	126.9	東京	110.0	東京	109.8	東京	109.4	東京	110.9
2位		東京	118.1	沖縄	100.3	沖縄	99.2	高知	98.9	高知	96.0
3位		高知	100.5	新潟	97.6	新潟	98.5	沖縄	97.1	青森	93.8
⋮		⋮		⋮		⋮		⋮		⋮	
(全国平均)			81.0		80.9		81.4		81.9		79.5
30位		愛知	75.2								
31位				愛知	75.0						
35位						愛知	73.3	愛知	74.3	愛知	72.3
⋮		⋮		⋮		⋮		⋮		⋮	
45位		福島	65.1	滋賀	65.1	岐阜	64.5	岐阜	67.4	岐阜	65.1
46位		滋賀	64.2	奈良	64.5	滋賀	64.3	奈良	65.4	奈良	63.3
47位		茨城	62.5	栃木	63.7	奈良	64.3	滋賀	63.5	滋賀	60.2

資料：国税庁「酒税」よりこころの健康推進室作成

2 飲酒の状況

(1) 飲酒の頻度

○ 本県が16歳以上の県民を対象に実施した「生活習慣関連調査」において、「お酒をどのくらいの割合で飲みますか」の問いでは、平成12年、16年、21年、24年とも約半数の人が「ほとんど飲まない」と回答しています。

「毎日飲む」と回答した人は「ほとんど飲まない」と回答した人の次に多く、「週3～4回以上飲酒している」と回答した人は約23～27%です。（表2）

表2 飲酒の頻度

（単位：％）

	毎日	週5～6回	週3～4回	週1～2回	月1～2回	以前飲んで いたが辞めた	ほとんど飲 まない	無回答
平成12年	15.1	3.7	4.1	7.3	6.3	2.6	47.3	13.6
週3回以上の飲酒者	22.9							
平成16年	18.4	4.7	4.1	7.5	6.6	2.7	49.1	7.0
週3回以上の飲酒者	27.2							
平成21年	16.0	4.1	4.3	8.3	7.7	4.8	49.4	5.5
週3回以上の飲酒者	24.4							
平成24年※	15.9	5.5	5.1	8.1	9.5	3.1	50.9	2.0
週3回以上の飲酒者	26.5							
(参考)全国平 成24年	17.5	5.7	6.1	8.4	11.4	2.8	48.1	0.0
週3回以上の飲酒者	29.3							

資料：愛知県生活習慣関連調査

※平成24年は愛知県生活習慣関連調査結果（16～19歳及び20歳以上）を再計算した数値

（こころの健康推進室作成）

(2) 生活習慣病のリスクを高める飲酒者の状況

- 飲酒者のうち、生活習慣病（循環器疾患、糖尿病等）のリスクを高める量※を飲酒している者の割合は、平成24年愛知県「生活習慣関連調査」によると20歳以上の男性では16.4%、女性では3.6%でした。これは、平成24年の国民健康・栄養調査における全国の割合（20歳以上の男性14.9%、女性7.6%）と比較して、男性が高く、女性が低い状況です。（表3）

※生活習慣病のリスクを高める量：1日あたりの純アルコール摂取量が
男性40g以上、女性20g以上

表3 生活習慣病のリスクを高める飲酒者の割合

年	性別	愛知県	全国
平成24年	男性	16.4%	14.9%
	女性	3.6%	7.6%

（資料）愛知県：平成24年愛知県生活習慣関連調査
全 国：平成24年厚生労働省国民健康・栄養調査

(3) 未成年者・妊婦の飲酒状況

- 本県の未成年者の飲酒については、平成24年愛知県「生活習慣関連調査」によると男性16.3%、女性10.2%の者が飲酒しており、男性については平成12年から一旦減少したものの再び飲酒率が上昇し、女性については上昇傾向にあります。（表4）

表4 未成年者の飲酒をしている者の割合 （単位：％）

	平成12年	平成16年	平成21年	平成24年	（参考）全国 平成26年度
未成年者（16～19歳）の 飲酒している者の割合	男性 16.4	男性 8.5	男性 6.0	男性 16.3	中学3年生 男性 7.0
	女性 5.0	女性 13.4	女性 6.5	女性 10.2	女性 5.2
					高校3年生 男性 13.4
					女性 10.7

資料：愛知県生活習慣関連調査
（参考）全国：平成26年度厚生労働科学研究費による研究班の調査

- 妊婦の飲酒率については、平成16年度の4.7%から、徐々に減少し、平成27年度には0.6%となっています。（表5）

表5 妊娠中の者の飲酒者の割合 （単位：％）

	平成16年度	平成23年度	平成27年度	（参考）全国 平成22年
妊娠中の者の飲酒割合	4.7	2.3	0.6	8.7

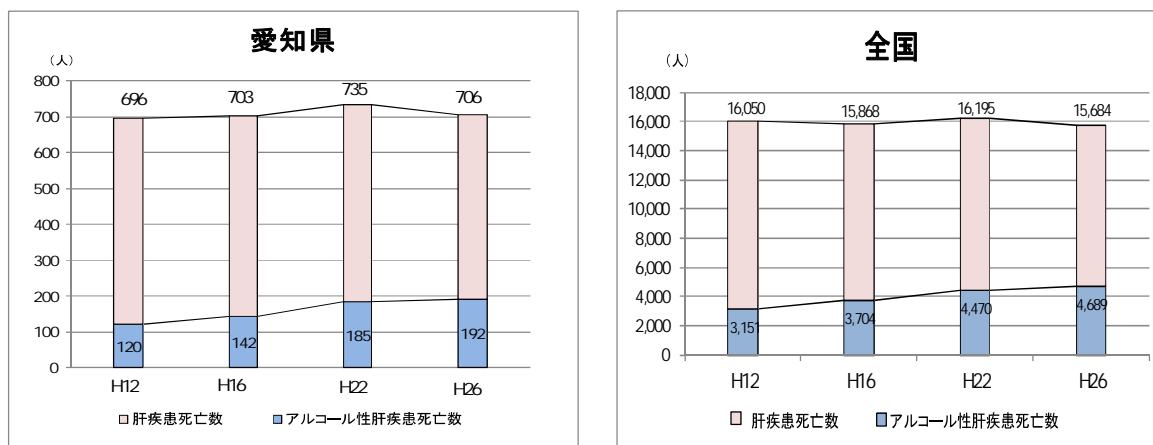
資料：平成16年度～27年度：愛知県母子保健報告
（参考）全国：平成22年厚生労働省「乳幼身体発育調査」（10年毎に調査）

3 アルコールによる健康障害

- アルコールは様々な健康障害との関連が指摘されており、疫学調査においても、アルコールの多飲が様々ながん等の疾患や自殺等のリスクを高めると言われています。

肝疾患については、図1のとおり、本県の肝疾患死亡者数は700人前後で推移していますが、肝疾患死亡のうちアルコール性肝疾患の死亡者数は平成12年の120人から、平成26年には192人となり、全国と同様に、増加傾向です。

図1 本県及び全国のアルコール性肝疾患の死亡数の推移



資料：人口動態統計

- アルコール依存症者については、平成25年に厚生労働省の研究班が実施した「成人の飲酒行動に関する全国調査」では、全国のアルコール依存症の生涯経験者^{*}の推計数は100万人を超えるとの報告がありました。

この結果を本県の平成24年の成人人口に置き換えた場合、本県のアルコール依存症の生涯経験者は約6.6万人と推計されます。(表6)

^{*}アルコール依存症の診断基準に該当する者またはかつて該当したことがある者

表6 ICD-10^{*}の診断基準によるアルコール依存症の生涯経験者数(推計値)

	全国			愛知県		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
平成24年人口における推計数	95万人	14万人	109万人	5.7万人	0.9万人	6.6万人

資料：全国数値 厚生労働省研究班調べ

愛知県数値 全国数値に20歳以上の男女の人口比率を乗じて算出

^{*}ICD-10 世界保健機関(WHO)による国際疾病分類で診断基準のガイドラインとして使われている

○ また、同調査においてアルコール依存症を現在有する者は、平成24年において、全国で58万人と推計されています。これを本県の平成24年の20歳以上の人口に置き換えますと、約3.5万人と推計されます。

○ アルコール依存症は、精神疾患のため、精神科医療機関での医療が必要となりますが、平成26年の本県における通院、入院者数は両者あわせて約1,600人です。これは、アルコール依存症を現在有する者約3.5万人（推計値）の約4.6%で、多くの者がアルコール依存症の治療につながっていないことが推測されます。（表7）

表7 アルコール依存症者の受療状況 (単位：人)

年		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	(参考)全国 平成26年
入院	愛知県	388	358	342	329	301	/
	名古屋市	314	297	269	155	160	
	小計	702	655	611	484	461	
通院	愛知県	622	647	675	696	664	/
	名古屋市	-	-	-	-	487	
	小計	622	647	675	696	1,151	
合計		1,324	1,302	1,286	1,180	1,612	-

資料：入院患者数：精神保健福祉資料調査（基準日：毎年6月30日）

通院患者数：自立支援医療（精神通院医療）受給者のうち、アルコール使用による精神及び行動の障害に分類されている者の人数（基準日：毎年4月1日）

4 飲酒運転による交通死亡事故

○ 本県の飲酒死亡事故は表8のとおりです。全死亡事故件数の減少傾向と同様、飲酒運転による死亡事故件数も減少傾向です。

表8 本県の飲酒死亡事故状況

年		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
全死亡事故件数		377	318	311	269	245	271	233	214	199	213
うち飲酒死亡事故	件数	38	29	25	23	25	11	14	17	8	13
	構成率(%)	10.1	9.1	8	8.6	10.2	4.1	6	7.9	4	6.1
	ワースト順位(位)	1	2	1	1	1	7	2	1	10	2

資料：愛知県警察本部

5 相談状況

- 県内におけるアルコール関連問題の相談は、保健所や精神保健福祉センターにおいて精神保健福祉相談として行われており、保健所の平成26年度の来所相談は446件、電話相談は976件でした。(表9)

表9 保健所・精神保健福祉センターの相談状況(延件数)

年度	保健所		精神保健福祉センター	
	来所相談	電話相談	来所相談	電話相談
平成22年度	732	845	3	88
平成23年度	610	986	6	72
平成24年度	414	839	8	63
平成25年度	401	819	3	52
平成26年度	446	976	9	69
(参考)全国 平成26年度	16,583	24,537	3,770	5,886

資料：保健所 地域保健・健康増進事業報告
センター 衛生行政報告例
※名古屋市、中核市を含む